

# 発掘された日本列島 2022 調査研究最前線



EXHIBITION OF  
EXCHANGE  
IN THE  
JAPANESE  
ARCHIPELAGO  
2022



埼玉県立歴史と民俗の博物館（埼玉県さいたま市）

令和4年6月11日（土）～令和4年7月18日（月・祝）

主催：文化庁、埼玉県立歴史と民俗の博物館、埼玉新聞社、東京新聞、全国新聞社事業協議会

だて歴史文化ミュージアム（北海道伊達市）

令和4年7月30日（土）～令和4年9月4日（日）

主催：文化庁、だて歴史文化ミュージアム、北海道新聞社、全国新聞社事業協議会

石巻市博物館（宮城県石巻市）

令和4年9月17日（土）～令和4年10月23日（日）

主催：文化庁、石巻市博物館、河北新報社、全国新聞社事業協議会

宮崎県総合博物館（宮崎県宮崎市）

令和4年11月5日（土）～令和4年12月11日（日）

主催：文化庁、宮崎県総合博物館、宮崎日日新聞社、全国新聞社事業協議会

なら歴史芸術文化村（奈良県天理市）

令和5年1月7日（土）～令和5年2月12日（日）

主催：文化庁、なら歴史芸術文化村、奈良新聞社、全国新聞社事業協議会

協力：全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社  
後援：全国史跡整備市町村協議会

協力：全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社  
後援：全国史跡整備市町村協議会



※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、日程の変更等が生じる場合があります。詳しくは開催館の情報をご確認ください。

## 我がまちが誇る遺跡

南北に細長く起伏に富んだ日本列島には、古くから多様な地域文化が花開き、その一部は現在にも継承されています。それぞれの地域における継続的な調査研究で明らかになった成果をまとめ、個性豊かな遺跡が紡ぎ出す「地域の歴史の魅力」をわかりやすく紹介します。

### A 井戸尻遺跡群 — おらあとう(おれたち)の考古学と遺跡の保護 —

長野県 富士見町  
井戸尻遺跡／曾利遺跡／九兵衛尾根遺跡／藤内遺跡／向原遺跡／坂平遺跡／大花遺跡／広原遺跡

住民自らが発掘を行い、自らの手で守り続けてきたハケ岳西南麓の縄文遺跡。長年にわたる調査研究成果と、先人たちの志を守り伝える取組について豊富な出土品を通じて紹介します。

### B 公家が繁いだ京都の文化

京都府京都市  
公家町遺跡

江戸時代、京都の公家たちが暮らした公家町。継続的な発掘調査から、新たな知見が積み重ねられています。文献にも残る公家衆の生活を、最新の発掘調査成果から描き出します。

### C 岩橋千塚古墳群と紀伊の遺跡

和歌山県

特別史跡岩橋千塚古墳群／鳴滝遺跡／木ノ本古墳群／大谷古墳／西庄遺跡／平井遺跡／秋月遺跡／楠見遺跡

古墳時代の紀の川沿岸には多くの集落と古墳がつくられました。紀の川の南北両岸に展開した地域色豊かな古墳の埋葬施設と埴輪の特色を通じ、古代豪族紀氏の実像に迫ります。



## 新発見考古速報

日本列島では毎年約8,000件の発掘調査が行われています。このうち、近年発掘された遺跡や、成果がまとまった注目の14遺跡約360点を速報展示します。

### 旧石器時代

1 稚児野遺跡 (京都府 福知山市)  
石を割る 広場団んで ひたすらに

### 縄文時代

2 史跡 取掛西貝塚 (千葉県 船橋市)  
定住だ コクゾウムシと シカ、タヌキ

3 宿戸遺跡 (岩手県 洋野町)  
斧斧斧斧斧 海を眺めて コツコツと

### 弥生時代

4 東小田峯遺跡 (福岡県 筑前町)  
内陸の クニに伝わる 最先端

5 中尾遺跡 (鳥取県 倉吉市)  
鉄矛と 鉄斧がムフに やってきた

### 古墳時代

6 猪ノ鼻(1)遺跡 (青森県 七戸町)  
北の地に はるばる来たか 古墳人?

7 兩迫間日渡遺跡 (熊本県 玉名市)  
巨樹の下 祈りを込めた 石並べ

8 金井下新田遺跡 (群馬県 渋川市)  
榛名山 馬飼いの子ら たわむれて

### 古代

9 鹿島沢古墳 (青森県 八戸市)  
レアな馬具 蝦夷の長が 眠る墓

10 尾羽廃寺跡 (静岡県 静岡市)  
わからない なんでもここから 塔心礎

11 栢ノ木遺跡 (京都府 井手町)  
橋の 力を映す 井手の寺

### 中世

12 新宮下本町遺跡 (和歌山県 新宮市)  
見つけた 熊野潤す 港町

### 近世

13 史跡 橋野高炉跡 (岩手県 釜石市)  
ニッポンの 近代支えた 鉄の里

14 史跡 旧新橋停車場跡及び高輪築堤跡 (東京都 港区)  
海上に 積み上げられた 知恵と技

## 特集 おうちで学び・楽しむ埋蔵文化財

現地に赴いて遺跡や遺物を見る機会が限られたコロナ禍の日々。こうした中で、動画やSNSなどオンラインを用いた新たな情報発信が各地でおこなわれるようになりました。コロナ後ももつながらるユニークな取組をパネルで紹介합니다。

